

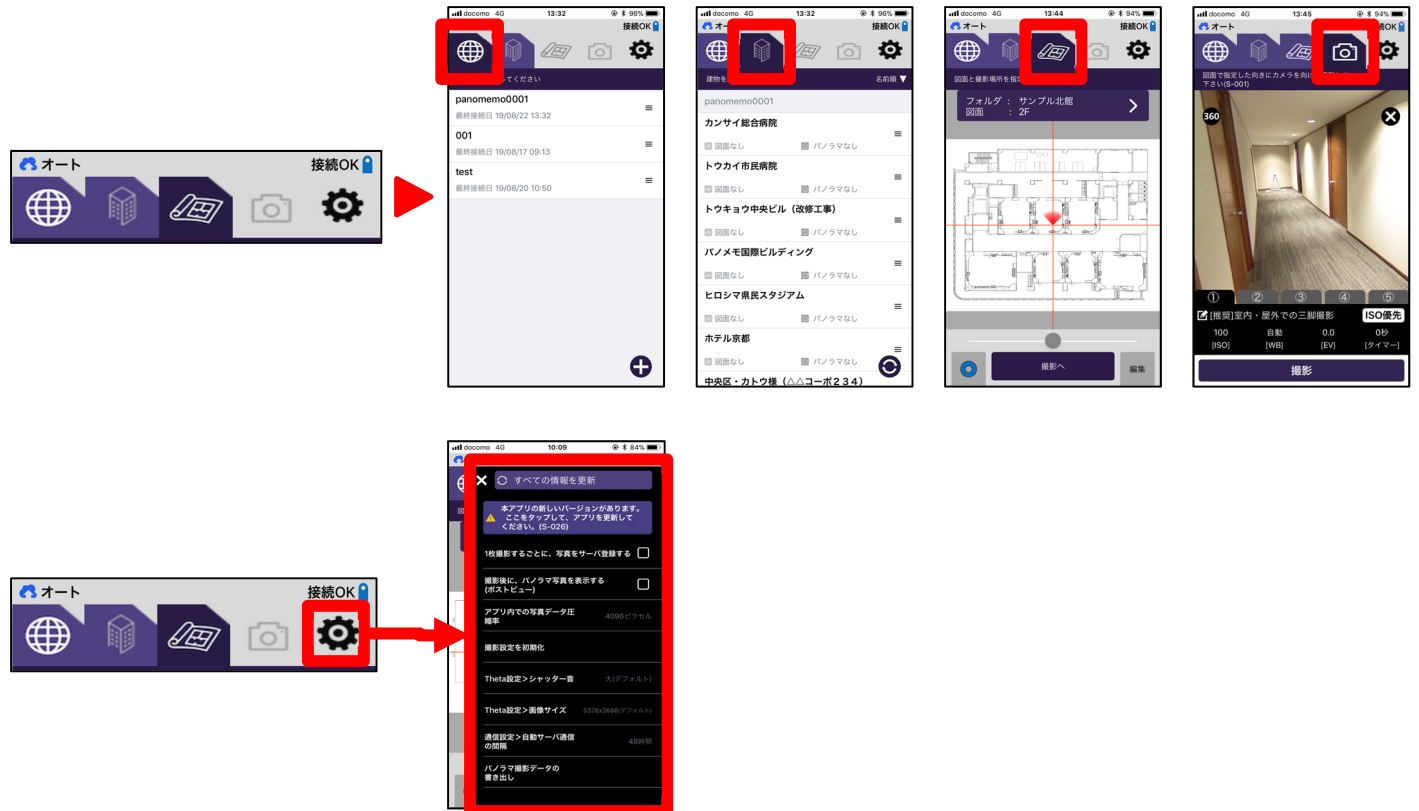
出来ない事

- ✓ リコーTheta 以外のパノラマカメラでの撮影。
 - ✓ パノラマ memo への図面登録・パノラマ閲覧・タグ書き込み。
- ※本作業は、パソコン・iPad のブラウザで実施できます。

1-4. 本アプリの画面紹介

4つのウィンドウと、1つのタブ

(図)※接続Wの絵+ウィンドウ切替方法

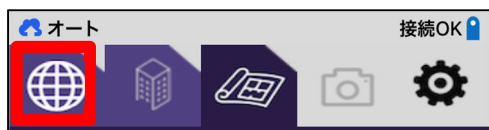


接続ウィンドウ

(図)(図)※接続ウィンドウ&接続先登録画面

契約しているパノラマ memo アカウントを選択します。(通常は1アカウント)

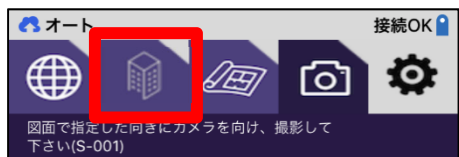
パノラマ memo へのログイン URL・ID・パスワード等を入力。



建物ウィンドウ

(図)

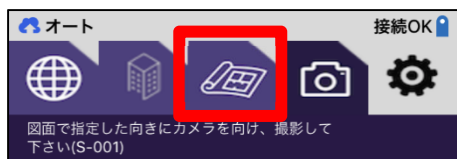
パノラマ memo に登録されている建物の一覧から、目当ての建物を選択します。※アクセス権がある建物のみ表示される。



図面ウィンドウ

(図)

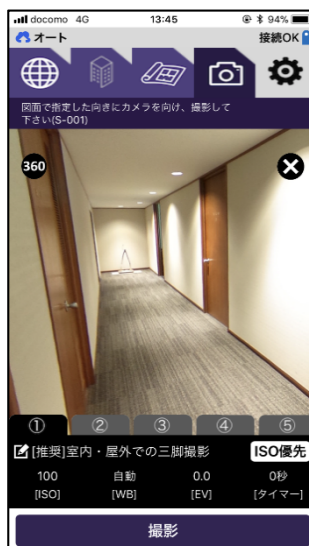
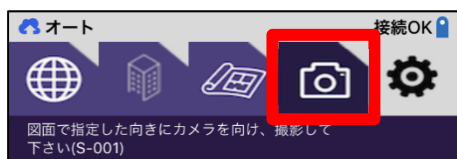
建物ウィンドウで選択した建物が持つ「平面図」が表示されます。ここで、撮影場所・角度などを指定可能。



撮影ウィンドウ

(図)

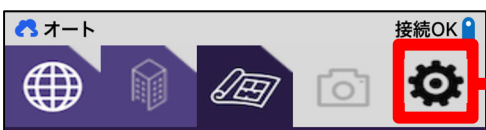
カメラのプレビューや、部屋の明るさに合わせたカメラ設定が行えます。



設定タブ

(図)

写真登録や、アプリ・カメラの各種設定変更などができます。



第 2 章 まず撮影してみよう

2-1.本章について

パノラマ撮影に必要な一連の操作を体験します。これにより「本アプリを使ったパノラマ撮影～登録」までの基本機能全てを覚えて頂けます。大まかな流れは以下です。

1. 初回にやるべき準備(1 度実施すれば、次以降は不要)
2. 撮影直前の準備(1 度実施すれば、その建物に対しては次回以降不要)
3. 現場でのパノラマ撮影
4. 撮影したパノラマ写真の登録 F

2-2.ステップ 1) 初回にやるべき準備

初めて本アプリを使う方のみ必要な「アプリのインストール」「パノラマ memo アカウント情報(URL,ID,パスワード)の登録」を行います。本ステップの注意点は以下です。

- ✓ 本ステップでは、インターネットにつながるスマホが必要です。モバイル通信か、WIFI 通信環境で作業してください。
- ✓ 既にアプリのインストールや、パノラマ memo への接続設定が完了している場合、ステップ 1 は飛ばし、ステップ 2 へ行ってください。

準備 1・APPSTORE から「パノラマ MEMO 撮影アプリ」をダウンロード。

<p>(図)AppStore→デスクトップにアイコン</p> 	<p>手順 1)</p> <p>スマホを起動し、AppStore から「パノラマメモ」と検索し、「パノラマ memo 撮影アプリ」をインストールする。</p>
--	---



準備 2・パノラマ MEMO の URL・ID・パスワードを登録する。

本作業を行うには、2つの方法があります。下記の方法①または②の手順で作業してください。

方法① QRコードで簡単に情報登録する方法<おすすめ>

本アプリをインストールしたスマホ以外に、手元にパソコン・iPadがある場合にお勧めです

(図)パノラマログイン画面

手順 1>

パソコンや iPad を使ってパノラマ memo にログイン

(図)パノラマ建物一覧画面

手順 2>

ログイン後の画面下部にある「パノラマ撮影アプリ」のタブをクリック

(図)パノラマ建物一覧画面の QR コード

手順 3>

画面に、パノラマ memo 画面内の「QR コード」を表示する。

(図)カメラアプリのアイコン

手順 4>


スマホのカメラアプリを起動し、QRコードにかざす。


 <p>(図)QR コードにカメラをかざしている姿</p>	
<p>(図)通知のスクリーンショット</p>	<p>手順 5) カメラアプリ上部に「通知」が出るのでクリック</p>
<p>(図)カメラにかざした後のAPP 画面</p>	<p>パスワードなどを入力しOK(仮)</p>


QR コードを読み込むことで、簡単にアカウント情報(URL・ID など)を入力できます。QR コードを読み込むことが出来ない場合は、手動で登録情報を入れる事になります。これが以下の「方法②」です。

方法② 手動で情報登録する方法

手元にパソコン・iPad がない場合に利用してください。

<p>(図)接続 W(接続先ゼロの状態)</p> 	<p>手順 1) 画面右下の[+]ボタンをクリック</p>
<p>(図)新規接続先登録ウィンドウ(サンプルで上記入力した状態。PW 保存チェックを ON)</p>	<p>手順 2) フォームに必要な情報を入力</p> <p>◆接続先名</p>

	<p>会社名など、任意の名前を付けてください</p> <p>◆ログイン URL パノラマ memo ログイン画面の URL を入力してください。</p> <p>例)https://sv00.panomemo.com/login?!=abc123</p> <p>◆ユーザ ID パノラマ memo のユーザ ID</p> <p>◆パスワード パノラマ memo のログインパスワード</p> <p>入力完了後、OK をクリック</p>
--	---

<p>(図)接続 W(接続先が登録された状態)</p> 	<p>手順 3)</p> <p>新規接続先が登録され、建物一覧の画面が表示されます。</p>
---	--

<p>(図)建物 W(建物がある場合)</p> <p>(図)建物 W(建物がない場合)</p> 	<p>確認)</p> <p>◆建物の一覧に「今から撮影したい建物がある場合」 →建物をクリックし、ステップ 3 へ</p> <p>◆建物の一覧に「全く建物がない」または「今から撮影したい建物がない場合」 →ステップ 2 へ</p>
--	---

2-3. ステップ 2) 撮影直前の準備

撮影現場に行く前に実施しておくべき「建物の作成&図面登録」を行います。本ステップは「アプリの操作」より「パノラマ memo 側の操作」がメインとなります。以下の点に注意して作業してください。

- ✓ ここでは「図面」をパノラマ memo に登録します。事前に図面の画像データ(png ファイル、または jpg ファイル)を準備してください。

- ✓ 本ステップでは、インターネットにつながるスマホが必要です。モバイル通信か、WIFI 通信環境で作業してください。
- ✓ パノラマ memo 管理者権限が必要となります。権限がない場合は「以下の作業手順 1」が実行できないため、御社の管理者まで作業を依頼してください。

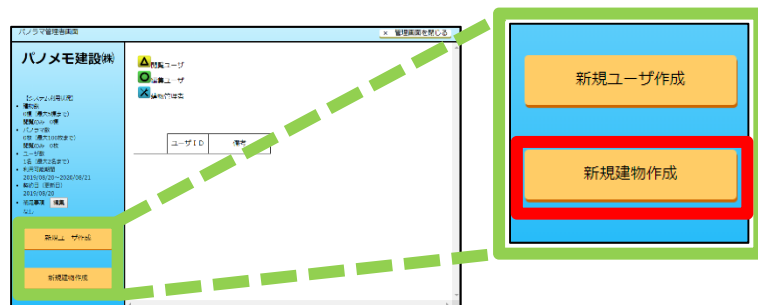
まず、今から撮影する対象となる「建物」を新規作成し、アクセス権を付与する

(図)建物一覧画面の「管理者画面へ」



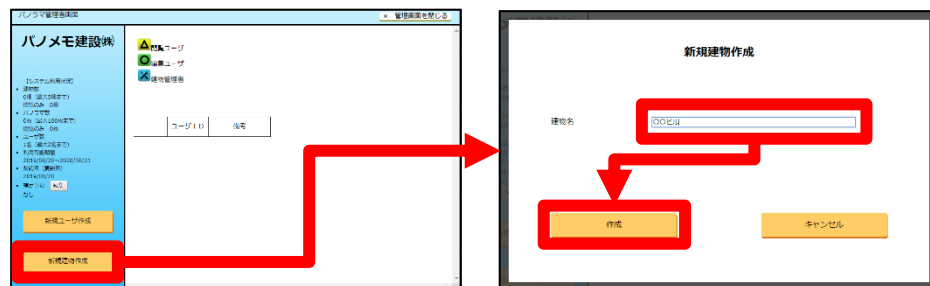
手順 1)
パノラマ memo にログインし、[管理者画面へ]をクリック。
※管理者権限がない場合、このボタンが表示されません。御社のパノラマ memo 管理者まで「手順 1~4」を実施するようご依頼ください。

(図)管理者画面の「建物新規作成」ボタン周辺



手順 2)
[新規建物作成]で、撮影対象となる建物を作成する。
※既に作成済みの場合は不要

(図)新規建物作成ダイアログ



(図)管理者画面で権限付与

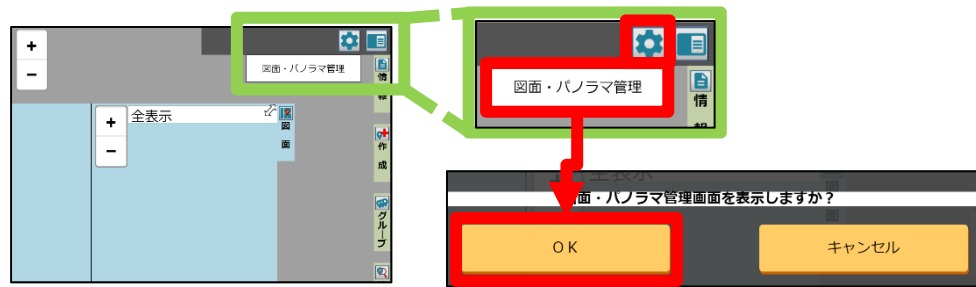
手順 3)
ステップ 1 で設定した自分のログイン ID に対し、作成した建物の編集権限を付与する。
※編集ユーザまたは建物管理者とする。閲覧ユーザではパノラ

	<p>マ写真登録権限が無い ためNG。</p>
	<p>2回クリックして○をつける</p> <p>※クリックするごとに 空白→△→○→× が切り替わる</p> <ul style="list-style-type: none"> 閲覧ユーザ 編集ユーザ 建物管理者
<p>(図)管理者画面の「閉じる」ボタン</p>	<p>手順 4) 管理者画面を閉じる。</p>
<p>(図)建物一覧</p>	<p>手順 5) 建物一覧画面に、手順 2 で作成した建物が表 示されているので、建 物名をクリック。(表 示されていない場合、</p>

	<p>手順 3 を再チェックする)</p>
--	-----------------------

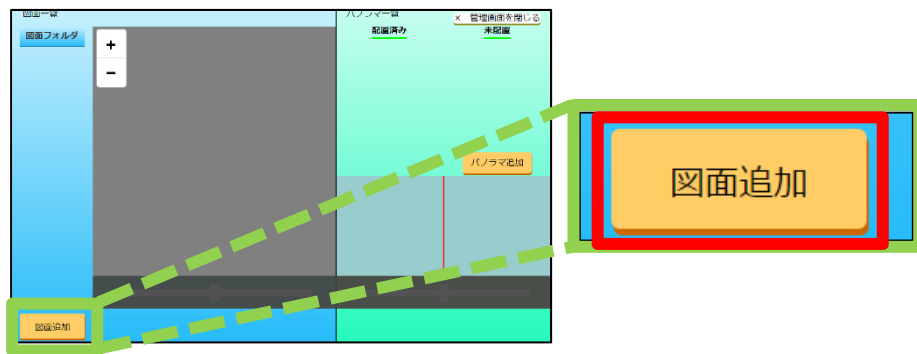
作成した建物に「平面図」を追加する

(図)パノラマメイン画面右上の「図面・パノラマ追加」メニュー



手順 6) パノラマ memo のメイン画面が開くが、平面図もパノラマ写真もない状態。(空っぽの建物)
ここで、[画面右上メニュー→図面・パノラマ管理]をクリックする。

(図)図面・パノラマ管理画面の図面追加



手順 7) 図面・パノラマ管理画面が開くので[図面追加]をクリック

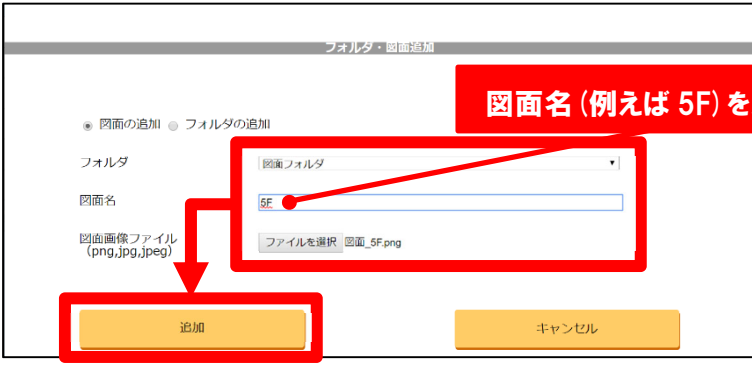
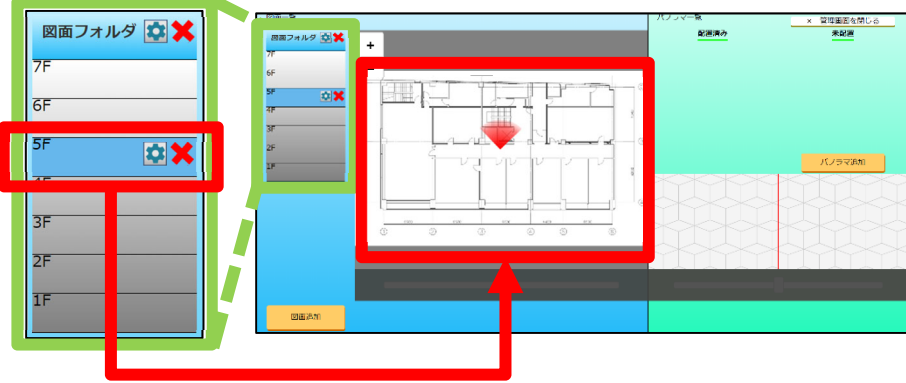

(図)図面追加のダイアログ(1F)



手順 8) [図面名]を入力。
[図面画像ファイル]に、建物の平面図データ(png または jpg ファイル)を登録し、[追加]をクリック

(図)図面追加のダイアログ(5F)

手順 9)

	<p>図面が複数枚あるばあ、手順 8 を繰り返す。</p>
<p>(図)図面フォルダを展開している画像</p> 	<p>手順 10> 画面右上の「図面フォルダ」をクリックすると、手順 8・9 で登録した図面が表示される。</p>
<p>ここまでで作成した「建物および平面図」を本アプリで確認(ダウンロード)する</p>	
<p>(図)接続 W</p> 	<p>手順 10> パノラマ memo アプリを起動。 接続先を選択。</p>
<p>(図)建物 W</p>	<p>手順 11> 建物一覧から、「今回作成した建物名」を選択</p>

	
<p>(図)図面 W</p> 	<p>手順 12)</p> <p>建物の図面が表示される</p> <p>※この時点で、本アプリ内に図面がダウンロードされている。そのため、これ以降はインターネット接続できない環境でも「図面閲覧」や「パノラマ撮影」が可能となる</p>

2-4. ステップ 3) 現場でのパノラマ撮影

ステップ 1・2 までは、事前準備でした。これ以降は、本格的に「アプリとカメラ」を使った撮影作業となります。本ステップのポイントは以下です。

- ✓ インターネット接続できない iPhone/iPod Touch などでも撮影可能
- ✓ カメラ(リコーTheta)が必要

スマホとカメラを接続する(リコーTheta マニュアルにも記載有)

(図)Theta 電源ボタン、Wi-Fi ランプ点滅



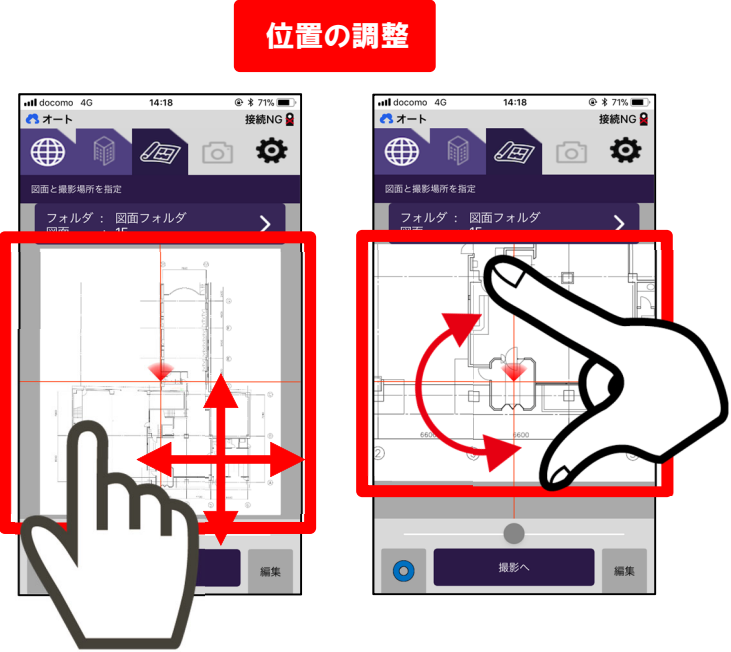
手順 1)

Theta の電源を入れる。

※WIFI ランプが点滅する

<p>電源ボタン</p> <p>点滅する</p>	
<p>(図)iPhone の設定アイコン、設定画面の WIFI の項目</p> <p>設定</p>	<p>手順 2)</p> <p>スマホの[設定>WIFI]をクリック。</p>
<p>(図)iPhone の WIFI 設定画面に、「Theta*****」が表示されている</p> <p>Wi-Fi が OFF の状態</p> <p>ON で緑になる</p> <p>THETA*****を選ぶ</p> <p>パスワードを入力</p> <p>数字部分がパスワード</p>	<p>手順 3)</p> <p>WIFI の設定が OFF の場合、ON にする。</p> <p>ネットワークを選択…から[THETA *****]を選択し、パスワードを入力する。</p> <p>※標準設定では、パスワードは[Wi-Fi 接続先の数字部分 8 桁]</p>
<p>(図)iPhone の設定> WIFI 画面で、Theta にチェックが付いている</p>	<p>手順 4)</p> <p>スマホとカメラが、正常に WIFI 接続されたことを確認。</p>

	
<p>(図)Theta の WIFI ランプが点灯 (点滅から点灯というコメント)</p>	
	
<p>アプリを使い、パノラマ撮影を開始する</p>	
<p>(図)接続 W(対象接続先を囲む)、接続先は 1 つだが。</p> 	<p>手順 1> 事前に設定しておいた [接続先] を選択する</p>
<p>(図)建物 W(対象物件名を囲む)</p>	<p>手順 2> 事前に準備しておいた 「撮影対象となる建物名」 を選択する</p>

	
<p>(図)図面 W の「フォルダ・図面ボタン」を囲む※詳細説明はしない</p> 	<p>手順 3> 図面が表示される。 ※複数枚の図面がある場合、切り替える事が出来る</p>
<p>(図)図面 W で、狙った位置に図面調整した画像</p> <p style="text-align: center;">位置の調整</p> 	<p>手順 4> 今から撮影する位置を、図面の中心に持ってくる。 ※スマホの操作で「図面の移動・拡大縮小」を行い、撮影位置が「赤い十字」の中央に来るようにする</p>
<p>(図)図面 W の撮影ボタン</p>	<p>手順 5> 撮影ボタンをクリック</p>

	
<p>(図)しゃがんでカメラをかざしている写真 (図)三脚でカメラセットしている写真</p>	<p>手順 6> カメラをセットする。 ※三脚利用する場合は、カメラを設置する。 ※手持ちの場合は、カメラを垂直にかざす。傾けたり、レンズを手でふさがないように注意。</p>
<p>(図)撮影 W ①～⑤</p> 	<p>手順 7> 必要に応じて撮影設定を行う。 ※三脚の場合は①または② ※手持ちの場合は④</p>
<p>(図)撮影 W 「撮影」 ボタン</p>	<p>手順 8> 撮影ボタンをクリック。</p>

	
<p>(図)撮影 W「ポストビュー」のOK ボタン</p> 	<p>手順 9> 撮影された写真が表示されるので、問題なければ「OK(登録)」をクリック。</p>
	<p>手順 10> 手順 3~9 を繰り返し、すべての写真を撮影する。</p>

手順 11> (たくさんのドーナツ)

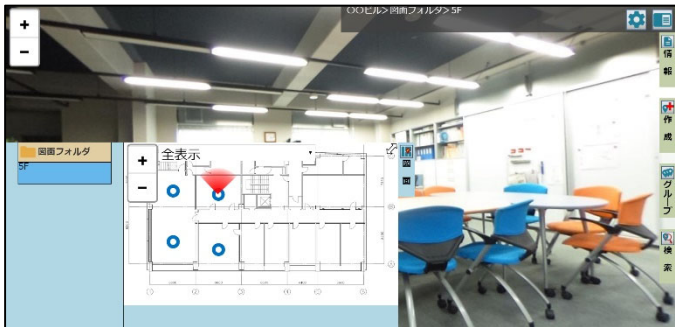


2-5.ステップ 4) 撮影したパノラマ写真の登録

ステップ 3 で撮影した写真を、パノラマ memo に登録します。本作業はボタン 1 つで完了します。以下の点に注意して作業してください。

- ✓ インターネットにつながる環境で作業してください。
- ✓ 写真 1 枚あたり 1~2MB 程度のデータ通信を行います。通信量が気になる場合は WIFI 環境で作業してください。
- ✓ 写真枚数が多い場合、処理に時間がかかります。数百枚の撮影を行った場合は、スマホを充電器に刺し、しばらく放置できるようにして下さい。

<p>(図)設定アイコン</p>	<p>手順 1)</p> <p>[設定アイコン]をクリック。</p>
<p>(図)設定タブから「すべての情報を更新」</p>	<p>手順 2)</p> <p>[すべての情報を更新]をクリック。</p>

	
<p>(図)アップロード中画面</p> 	<p>手順 3)</p> <p>アップロードが完了するまで待つ。</p> <p>※100枚以上の写真をアップロードする場合、スマホを充電器につなぎ放置してください。</p>
<p>(図)パノラマ memo メイン画面</p> 	<p>手順 4)</p> <p>パノラマ memo にログインし、建物を見ると、撮影したパノラマ写真が閲覧できます。</p>

第3章 アプリ活用テクニック

3-1. 本章について

本書は、以下のような構成になっています。

- ✓ 第1章・第2章 … 本アプリの基本操作を一通り紹介。
- ✓ 第4章以降 … 全機能の詳細な説明。

この第3章では「基本機能ではないが、知っておくと便利な機能」をピックアップしてご紹介します。

本章の目次

3-2. [設定] 全ての情報を更新]を頻繁に実行すること

3-3. カメラのシャッター音量を変更

3-4. 撮影推奨機材

3-5. 現場撮影に行く前の、チェックリスト

3-6. 撮影した写真を、すぐにパノラマ memo に登録したい場合の設定

3-7. 大量の撮影をスムーズに行うテクニック

3-8. 暗い場所での撮影テクニック

3-9. 撮影したパノラマ写真を、パソコンに取り込みたい場合

3-2. [設定] 全ての情報を更新]を頻繁に実行する事

[第2章ステップ4]では、パノラマ写真をアップロードする際に[設定] 全ての情報を更新]を実行しました。しかし、この操作は「パノラマ写真のアップロード」だけでなく以下の重要な役割を持っています。

他のユーザによって、建物・図面が編集されていないか確認する。さらに編集されていた場合は、図面などを最新に更新する。

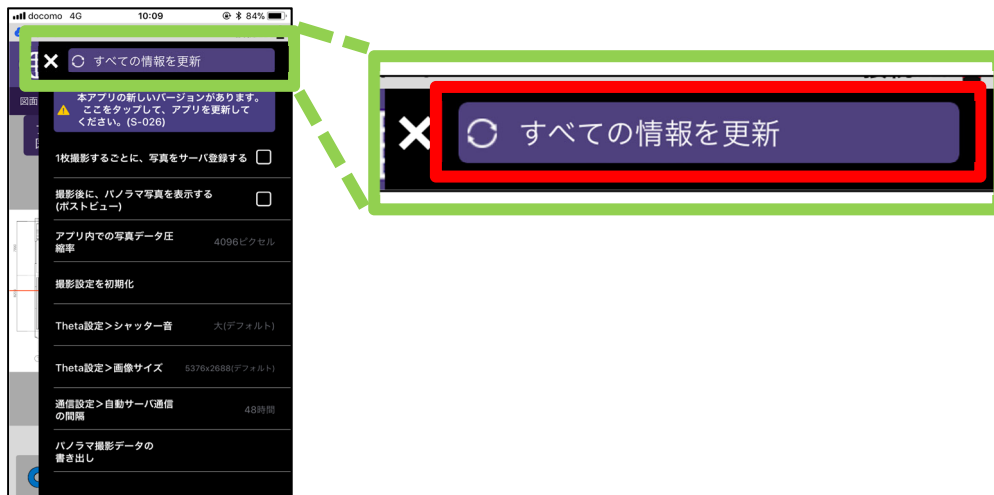
これは、以下のようなケースで役立ちます。

本アプリには、インターネットにつながらない環境でもパノラマ撮影が出来るよう「あらかじめ、建物や図面情報をスマホ内に保存しておく仕組み」が組み込まれています。

しかし、スマホ内の建物や図面情報が古い場合「図面がもう存在しない」「別の図面に差し替えられている」「建物自体が消滅している」という問題が起こり得ます。

これを避けるために、撮影前には極力[設定] 全ての情報を更新]を実施しておくことが重要です。(ただしインターネットにつながる環境が必要)

(図)※設定 T) 全ての情報を更新



なお本アプリでは「長期間、情報更新されず放置」されないよう、インターネットにつながる端末では、定期的に[すべての情報を更新]を自動実行する仕組みとなっています。

3-3. カメラのシャッター音量を変更

カメラ(リコーTheta)は、標準の設定で『キュイン』というシャッター音が鳴るようになっています。この音量は本アプリで簡単に「最大～無音」まで変更できます。

(図)※設定T> Theta 設定・シャッター音




音が気になる場合は[OFF]に設定し、問題ない場合は[最大]に設定しておくことを推奨します。(上手く撮影できている事を確認できるため、シャッター音は重要です)

3-4. 撮影推奨機材

現場撮影をする際の、推奨機材を紹介します。

必須	
(図)Theta SC5 色	◆カメラ「リコーTheta」 パノラマ memo では、[Theta SC]というグレードを推奨しています。5色のバリエーションがあるため、複数台購入する場合は色違いにするこ

	<p>とで、充電・機材管理に便利です。 1台でおおよそ2時間の連続撮影が可能。</p> <p>故障、電池切れに備え複数台</p>
<p>(図)ストラップ付 iPhone の写真</p> 	<p>◆スマートフォン「iPhone」＋ネックストラップ 撮影現場では、カメラなど他の機材も持つため、ネックストラップ付のiPhoneが便利です。</p>
<p>推奨</p>	
<p>(図)ミニ3脚＋1脚、TM-1</p>	<p>◆一脚＋小型三脚 写真の画質向上、暗所撮影、撮影者が写りこまないなどメリットが多いです。 通常の三脚では大きく、壁にぶつかり傷をつけるなど懸念があるため、一脚＋小型三脚の組み合わせを推奨します。 左：SLICK社「セルフィーポッド1350」＋三脚 右：リコー社「TM-1」</p>
<p>暗所撮影を行う場合</p>	
<p>(図)YF ランタン</p>	<p>◆小型ランタン(室内撮影用) LED式の小型ランタン。横方向だけ</p>

	<p>でなく、上方向も撮影でき、持ち手付きのものが便利です。 写真はジェントス社「EX-136S」</p>
<p>(図)Theta+照明</p> 	<p>◆小型照明(点検口用) 充電式の小型 LED ライト 2 台を、Theta を金具で締結する事で、点検口内を容易に撮影できます。 写真は LPL 社「VL-210M」×2 台</p>

3-5.現場撮影に行く前の、チェックリスト

現場撮影する際のチェックリストです。状況によっては準備・機材も異なるためぜひご活用ください。

必須

- スマートフォン、カメラの充電は十分か？
- 本アプリで「撮影対象の建物・図面」が閲覧できるか？

推奨

- 三脚、モバイルバッテリー、充電ケーブルを持っているか？

暗所撮影時

- ランタン・照明は持っているか？充電・電池はあるか？
- 点検口撮影用の脚立はあるか？

3-6.撮影した写真を、すぐにパノラマ MEMO に登録したい場合の設定

本アプリの標準設定では「撮影したパノラマ写真を、後でまとめてパノラマ memo に登録」するようになっています。以下の設定変更を行うことで「1 枚撮影するごとに、自動でパノラマ memo に登録」するようになります。

(図)設定 T> 1 枚ごとにパノラマ登録をオンにしている画像



設定[1枚撮影することに、写真をサーバ登録する]について

オンの場合

1枚撮影することに、パノラマ写真をパノラマ memo に登録します。そのため、その場で iPad などでのパノラマ memo の閲覧・情報書き込み・共有などが行えます。

モバイル通信出来るスマホが必要です。

パノラマ写真の登録に時間がかかるため、撮影の効率が落ちます。

オフの場合(標準設定)

撮影したパノラマ写真は、スマホ内に保存されます。この場合、あとでまとめてアップロードする事になります。

インターネットにつながらないスマホを利用する場合や、スムーズに撮影を済ませたい場合に利用します。

3-7.大量の撮影をスムーズに行うテクニック

ビル1棟丸ごとといった大規模な撮影では、スムーズな作業実施が重要です。(本アプリでは1日に最大1万㎡の撮影が可能です)また、本アプリには、より素早く撮影するための設定があります。

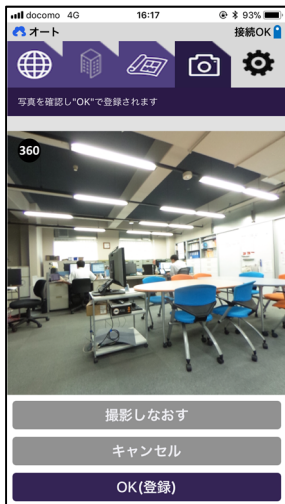
(☒)設定 T> ポストビューを OFF にしている画像



設定[撮影後に、パノラマ写真を表示する(ポストビュー)]

本アプリでは、通常パノラマ撮影を行った後に「撮った写真の確認」と「写真を登録するか？削除するか？再撮影するか？」の確認ダイアログが出ます。

(図)ポストビュー



本設定を OFF にすることで「撮った写真の確認」など一連の動作を省略することが出来ます。ただし、明るさが場所ごとに異なるなどの理由で「上手く撮影できていない写真」に気づかない恐れがあるため、パノラマ撮影に慣れていない方にはお勧めしません。

3-8. 暗い場所での撮影テクニック

「薄暗い室内」から「完全な暗闇(点検口・電気が通っていない地下室など)」まで、あらゆる部屋を比較的簡単に撮影ができます。ここでは「準備物」と「暗所での本アプリの使い方」を説明します。

準備物

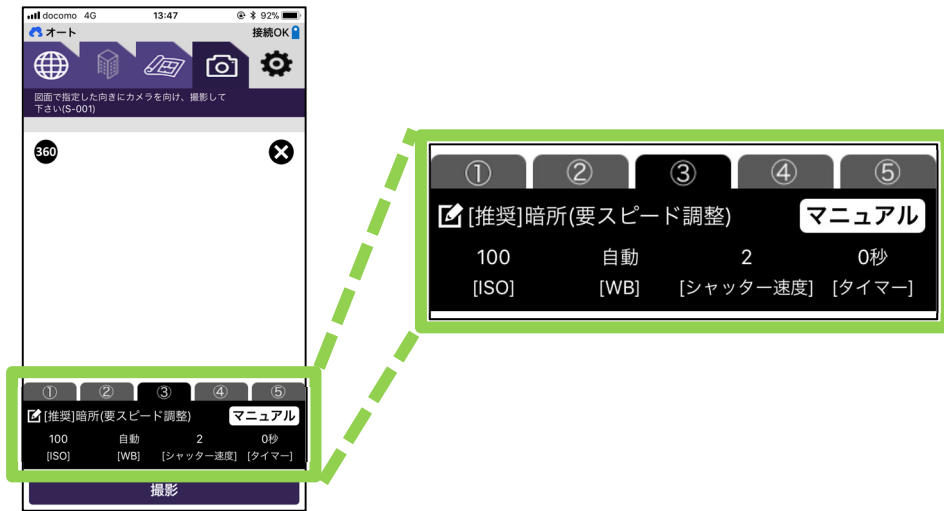
三脚 …用途に合わせたサイズのものを用意してください。

照明 …LED のランタンが便利です。明るさは重要ではありませんが、極力広範囲(上下左右)を照らせるものをお勧めします。

本アプリのカメラ設定③を活用する

本アプリでは、撮影時のカメラ設定変更が容易にできます。

(図)撮影 W 下の①～⑤で、③を選んでいる絵



カメラ設定は、パノラマ memo 推奨設定が 5 種類割り当てられていますが、その内容は利用者が自由に変更できます。特に設定③は「暗所撮影」に特化しています。

設定③を利用した暗所撮影

設定③では「マニュアルモード、ISO100」を基本としています。この中で「シャッター速度」の値のみを切り替える事で、薄暗い部屋～真っ暗闇まで対応できます。このシャッター速度は「秒数が長いほど、暗い所でも明るく撮れるようになる設定」で、大まかな設定例は以下です。

- ✓ 薄暗い部屋： シャッター速度 1/2～1(秒)
- ✓ 点検口： シャッター速度 1/1.3～8(秒)
- ✓ 電気の点かない地下室+ランタン：シャッター速度 3(秒)～

上記を参考に、環境光・照明の明るさに合わせてシャッター速度を調整して下さい。照明の明るさは強すぎない方が、自然に撮影が出来ます。

3-9.撮影したパノラマ写真を、パソコンに取り込みたい場合

本アプリでは、撮影した写真をパノラマ memo に直接登録します。写真自体はカメラ内に残らない設定となっています。写真データを残したい場合は[設定>パノラマ撮影データの書き出し]を行ってください。

パノラマ撮影したデータを、パソコンに取り込む手順	
(図)設定 T のパノラマ書き出しボタン	手順 1) 設定タブから[パノラマ撮影データの書き出し]を選択



**パノラマ撮影データの
書き出し**


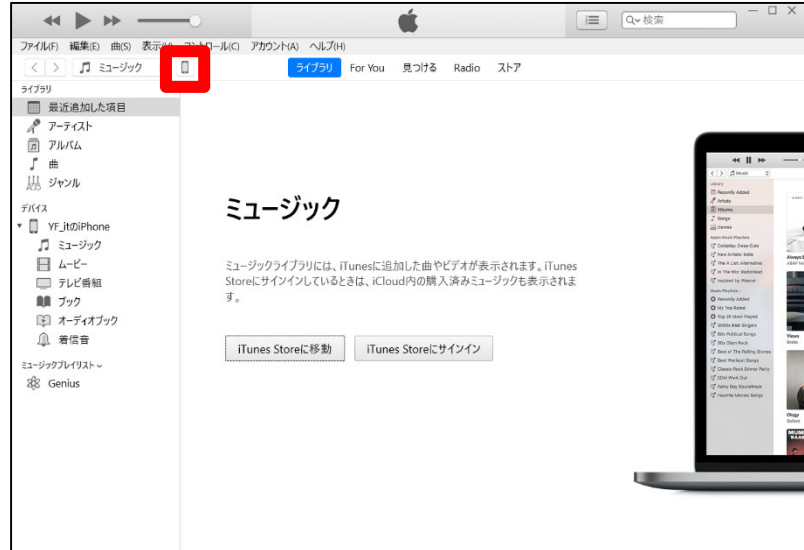
(図)書き出し中画面

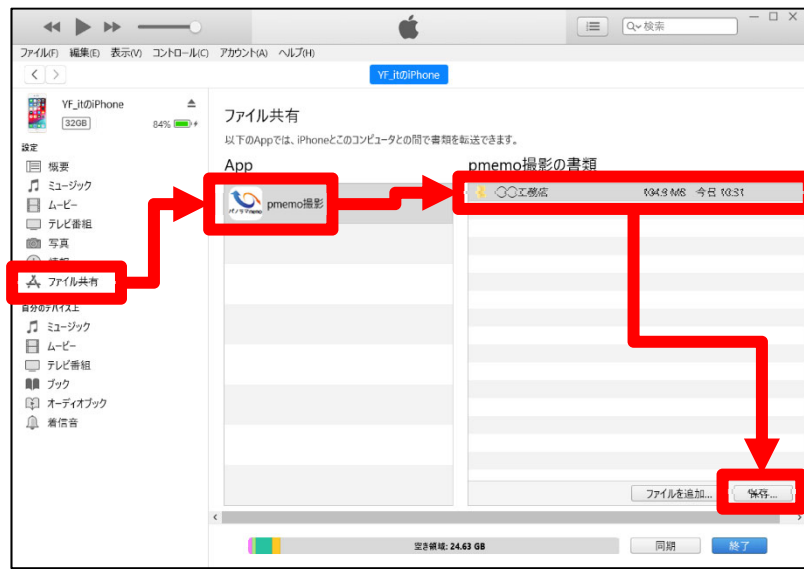


手順 2)
データ書き出しが完了する
まで待つ。(短時間で書き出し
は完了します)

(図)iTunes でスマホに切り替え

手順 3) ※パソコンで
の操作
iPhone をパソコンに接続
し、iTunes を起動し、スマ
ホのデータ表示に切り替え
る。

 <p>パソコンの「スタート」から iTunes を起動</p>  <p>iPhone の画面で「信頼」を選ぶ</p> 	
<p>(図)メニュー→ App> pmemo 撮影</p>	<p>手順 4) ※パソコンでの操作 左のメニューより[ファイル共有]を選択し、App 一覧から[pmemo 撮影]を選択</p>



(図)iTunes からデスクトップにフォルダをドラッグ???

手順 5) ※パソコンでの操作
画面左のフォルダを、デスクトップにドラッグ

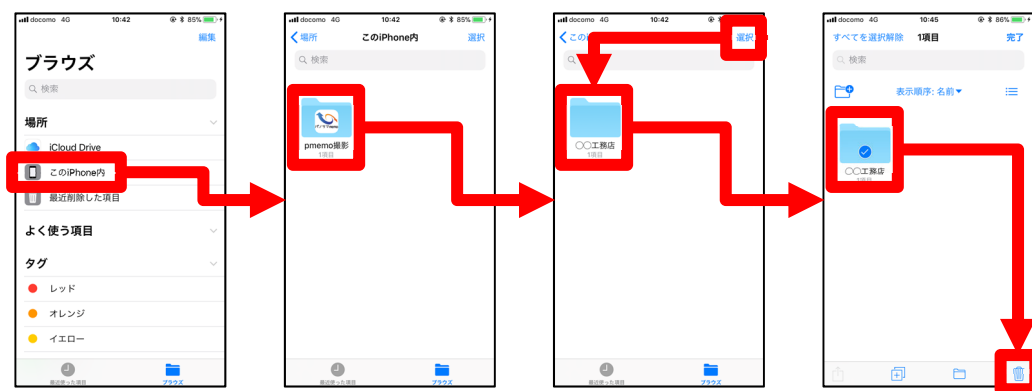
スマホ内から写真を削除する場合

(図)iPhone デスクトップの「ファイル」アプリの絵



手順 1)
スマホから、アプリ[ファイル]を起動

(図)[pmemo 撮影]フォルダを開き、削除するまでの流れ



手順 2)
アプリ内で[pmemo 撮影]のフォルダを開き、不要なデータを削除。